



第301号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成26年度日臨技・兵臨技主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を終えて 1~2
- HIV・STI予防啓発キャンペーンを開催・兵臨技 新年名刺交換会開催される・めらんじゅーるな空間 2~3
- 《行事予定表》 4~5
- 《賛助会員コラム》・《各部局報告》・《求人情報》 6~7

平成26年度日臨技・兵臨技主催 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を終えて

私たち臨床検査技師には国から求められた業務の一つとして患者に対する検査説明があります。しかし残念ながら十分に実施されていないとの指摘を受けていることから、日臨技主導の下、全国で検査説明・相談に必要な知識及び技術を習得するための講習会を平成26年12月13日(土)・14日(日)に兵庫医科大学9-2講義室にて開催いたしました。

講習会初日はこの冬第2弾の寒波が襲い、非常に寒い日でした。兵臨技中町会長の開会の挨拶からスタートし、日臨技の指定ビデオ講演として、宮島日臨技会長による臨床検査技師の検査説明・相談に取り組む姿勢について、また、病院管理職の立場から国立病院協会の木村満先生に臨床検査技師による検査説明に期待するものを聴講しました。看護師、臨床心理士、接遇講演のプロなどの多種多面の先生方を招き、検査説明に必要な、主にコミュニケーションについての講演を行っていただきました。二日目は患者説明の実際としてロールプレイでの実践、R-CPC^{※1}では検査結果から患者の病態の読み方を、最後に実際に検査説明を行っている施設の技師長による講演が行われました。非常に熱心な意見や質問があり、受講者の皆さんが検査説明について真剣に考えていることがうかがえました。

受講者は当初の40人の予定を大きく上まわり64人でした。受講者から提出していただいたアンケートによると、全体の評価は「よかった」が85%を超えました。ビデオ講演は、この講習会に対する意義を全国の受講者に一貫して伝えたいという日臨技の意向の表れと思われますが残念なことにあまり感想はよくなく、検討するよう要望したいと思います。ロールプレイによる講演は好評で特に実践がよかったという意見が多くみられました。しかしながら実際に自施設で検査説明が行えるかの質問では圧倒的にわからないが多くみられました。この結果は本当に実際に始められるかと考えた時の素直な感想であると思います。この講習会を受ければ、即、検査説明ができるというものではありません。進めるには、課題は多くありますが、その方向に向いて少しずつ前進し、小さな試みでもその方





法や成果を情報交換することにより、一步を踏み出せたらと考えています。我々のステータスである正確で精度の高い検査結果を迅速に提供することと同時に検査説明は当然臨床検査技師が行うものと技師自身が、医療従事者が、患者さんが、そして社会全体が認識している時代を育みましょう。平成27年度は場所を変え、東播・西播地区での開催を考えています。講習会に参加していただき、検査説明への意識を高めていきたいと祈願いたしております。

井垣 歩（兵庫県担当）

※1 R-CPC：Reversed Clinico-Pathological Conference

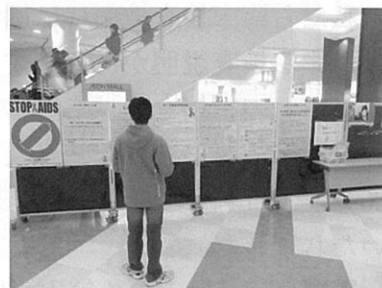
症状や診察所見の情報のない状況で、臨床検査データをもとに、症例の病態を推定しつつ討論すること

HIV・STI予防啓発キャンペーンを開催

当会は社会に果たす役割として、公益性の高い事業のひとつ、公衆衛生の向上及び衛生思想の普及啓発を目的とする事業を推進・展開しています。

12月1日の「世界エイズデー」にあわせて、平成26年12月1日（月）～5日（金）イオンモール伊丹 エンターテイメントコートにて「一般向けHIV・STI（性感染症）予防啓発キャンペーン」としてパネル展示および資料配付を行いました。パネル展示ではHIV・STIに対する理解と支援の意志を示すための象徴となっているレッドリボンやいろいろな性感染症について提示し、予防の重要性を啓発いたしました。

さらに、「高校生向けHIV・STI予防啓発キャンペーン」としてHIV・STI予防の重要性を普及させることを目的に、女子高生を対象とした講演を行いました。



日 時：平成27年1月15日（木）13：00～15：00

場 所：神戸常盤女子高等学校

内 容：学校での講演

原田 佳世子 先生（兵庫医科大学病院産科婦人科学教室 学内講師）

テ ー マ：性感染症を知って予防を

講演要旨

性感染症とは病気の元になるウィルス、細菌が性行為によって感染する病気のことをいいます。ほとんどの性感染症には自覚症状がありません。知らない間に感染していて、相手にうつしているという怖い状況があります。今回は、エイズや子宮頸がんについて詳しくお話します。

HIV感染者は年々増加傾向にあり感染しても何の症状もない状態が長く続くため、検査を受けずに感染に気づいていない人は多くいると思われます。エイズとはどういう病気なのか正しく理解してもらいたいと思います。

一方、子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルス感染です。HPVも性行為によって感染し、すべての女性の8割が一生に一度は感染します。定期的のがん検査を

うけて早期発見することが大切です。そして予防ワクチンという方法もあります。

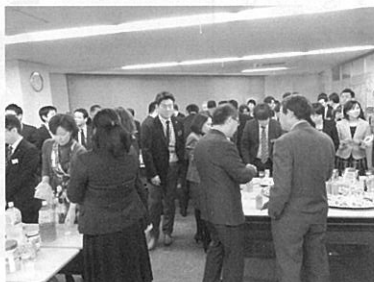
この機会に産婦人科の病気について正しい知識を得て自分自身を守ってください。

特に高校生向けのキャンペーンも開催することで、HIV・STIについて多くの若者たちに正しい知識を身につけていただき、不用意な感染から自分自身を守ってもらいたいと考えています。このように当会は、県民を対象とした公衆衛生の概念並びに臨床検査の普及啓発を目的として、今後も積極的に事業を展開してまいります。



兵臨技 新年名刺交換会開催される

平成27年1月10日(土)兵臨技研修センターにおいて、名刺交換会を開催しました。理事15名、会員3名、賛助会員21社55名 総勢73名の会員が新年の挨拶と情報交換を行いました。



めらんじゅーるな

空間

[8]

結婚の挨拶状をもらいました。そこには二人の寄り添うような微笑ましい写真・・・左手の薬指には結婚指輪がキラリッ！ 西洋では右手は権力、左手は服従・信頼という意味を持たせています。ではどうして薬指にはめるのでしょうか。ギリシャ神話では「左手の薬指には心臓につながる太い血管がある」といわれており、当時は解剖学的にもそう信じられていました。心臓にはその人の心(感情)の中心があり「恋の血管」が走っていると信じられていましたので、永遠の誓いの意味をこめて、神聖な指とされる薬指に指輪をはめるようになったとされています。またヨーロッパの慣習では、指輪を人差し指にはめれば「大胆」、中指にはめると「分別」、薬指なら「愛情」、小指にはめると「傲慢」の印といわれているそうです。途切れないリング(円)は永遠と輪廻の象徴ということになります。そしてお祝いは風呂敷を「右包み」にして渡しました。慶事の場合は左から包み始める右包みが習慣で、弔事は「左包み」となります。ところで二人は海外で挙式したそうです。もちろん飛行機で行きましたが、飛行機は必ず左側乗降。これは船の伝統(歴史的に右側にある舵を傷つけないため)からきていることはご存知の方もおられると思います。

今回まで左右対称、左利き・右利きなど左右についてお話してきました。このように日頃何気ない生活の中で、気付かないことはたくさんあると思います。業務の中でも、気付けるかどうかで違ってきます。このコラムを終えるにあたり、視点を変えて物事をみるのもひとつとじていただければ幸いです。長い間、ありがとうございました。



お知らせ ～訃報～



山本格士会員（元兵庫医科大学病院病理部 技師長）が平成27年1月8日に御逝去されました。享年66歳。

故山本会員は、日本臨床衛生検査技師会では、平成3年4月から7年3月まで病理検査全国委員、平成8年4月から12年3月まで病理検査全国委員班長として検査技術の向上に寄与されました。また学術研究奨励賞選考部会委員、編集委員会査読委員、コントロールサーベイ部会委員として、教育活動に熱心に取り組み、染色法の標準化を図るべく精度管理にも尽力されました。兵庫県臨床検査技師会（兵臨技）では、昭和57年4月から59年3月まで病理・細胞検査委員、平成4年4月から平成22年3月まで理事を務められ、その間病理・細胞検査研究班班長や精度管理専門委員も務められ、兵臨技にも多大な功績を尽くされました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

賛助会員

コラム [34]

協和メデックス(株)

KYOWA KIRIN

こんにちは！協和メデックスです。

下田 優衣（大阪第二営業所）

今月のコラムを担当させていただきます協和メデックス株式会社 下田 優衣（しもだ ゆい）です。入社1年目でぴかぴかの新入社員の私から弊社の紹介をさせていただきます。入社するまで会社名を「協和メディックス」だと勘違いしていたということはここだけの話です。

現在、兵庫県は所長を含めた4名（古賀、吉田、小池、下田）で担当させていただいております。入社歴もそれぞれですが、バランス良い布陣となっていますので、お気軽にお声掛けください。

さて、弊社は最先端のバイオテクノロジーを駆使して“日本初のグローバル・スペシャリティーファーマ”を目指す協和発酵キリングループの一員です。グループ間でのノウハウの共有に努め、協和発酵キリンが開発する医薬品と連携した検査試薬（コンパニオン診断薬）を開発するなど、グループ内での「医診連携」を強化しております。

総コレステロールの酵素的測定試薬「デタミナーTC」を皮切りに、脂質領域の検査試薬を多く製品化してきました。中でも、「デタミナーHDL-C」は、遠心分離を要しない画期的な試薬として検査現場に革新をもたらしました。現在では、このほかにも多様な脂質測定試薬を世界各国に提供しており「脂質の協和」として広く世界に認められております。

また、ヘモグロビンA1cを測定する「デタミナーHbA1c」をいち早く開発し、併せて専用の測定機器を開発するなど、免疫法による糖尿病関連のリーディングカンパニーとして高い評価を得ています。

今後、高度化、多様化を続ける臨床現場の課題にこたえていくためには、試薬だけではなく検査機器についてもイノベーションが求められてくると考えております。臨床検査の現場を支え、新たな価値を提案できるように日々努力をしております。

今後ともご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上

各部局報告

広報

海外学会での発表、積極的に挑戦を

「IFBLS学会の神戸開催はチャンス」

世界医学検査学会（IFBLS学会）が2016年8月31日～9月4日、日本臨床検査医学会学術集会、日本医学検査学会、日本臨床検査学教育学会学術集会と時期を合わせて神戸市で開催される。米国への留学経験を持つ神戸常盤大学保健科学部医療検査学科教授の坂本秀生氏はこのほど本紙のインタビューに応じ、IFBLS学会の国内開催を踏まえて、「英語での学会発表を怖がらず、ぜひ挑戦してほしい」と各臨床検査技師の奮起を呼び掛けている。



坂本氏

坂本氏は、藤田保健衛生大で博士の学位を取得し、米ハーバード大医学部／マサチューセッツ総合病院に留学した経歴を持つ。アメリカの臨床検査事情に詳しく、過去にはアメリカ臨床検査学会のポストドクトラル賞などを受賞している。

坂本氏によると、一般的に海外学会のポスター発表では、指定時間内に参加者から個別に質問に応じることはあるものの、プレゼンテーションは求められないという。

坂本氏は、「プレゼンがないのは大きな違い。指定時間だけポスター会場で待機して、あとは興味のあるポスター発表を見に行くのもよい」とし、まずはポスター発表からチャレンジするようアドバイス。発表のために作成したポスターや抄録に肉付けするかたちで論文投稿もできる

として、「神戸でのIFBLS学会の開催はよいチャンス。積極的に参加してほしい」と話した。

論文などの英語での執筆についても、学生時代に学んだ英語力に対応できると坂本氏はいう。「受験勉強で文法などはやっている。そうした能力を維持し高めておけば論文は書ける。論文独特の言い回しなどは、専門分野の論文を読み込み、慣れればいい」。

海外就業「まずは専門性」

海外就業に興味がある場合はどうか。坂本氏は「語学力が重要だと考える人も多いが、一番大切なのは専門性」という。特にアメリカでは臨床検査が専門分化されており、語学力があっても専門性がなければ実務

での対応は難しい。「（日本の）現場で3～5年の経験を積んで、知識レベルで同期より抜き出していれば海外でも対応できる」。むしろ、どのような就業プランを描いているのか明確にしておくことが重要だと強調する。数年間だけの就業・留学なのか、長期に働き続けることを希望するのかによって、取得すべきビザや試験が変わるからだという。

一方で坂本氏が問題点に挙げるのは帰国後のこと。「海外留学・就業は努力すれば難しくはないが、帰国後の再就職の難しさなど厳しい現実もある」と述べた。

米認定資格は日本でも受験可

米国ではカリフォルニア、フロリ

ダ、ニューヨークなど13の州では臨床検査技師免許の州試験が実施されており、就業を目指す場合は州試験を突破しなくてはならない。他の州では、アメリカ臨床病理学会（ASCP）など3つの団体が実施しているいずれかの資格試験に合格することで臨床検査技師として認定され、認定が免許証として活用できる。

このうちASCPでは、テクニシャン、テクノロジスト、スペシャリストの3つの区分があり、専門分野ごとにさらに認定区分が設けられている。さらに、海外在住者を対象とした資格試験として、「ASCPインターナショナル」（ASCPi）を運用。米国での認定試験の受験要件と同等水準の履修状況が認められれば受験でき、すでに日本からの合格者も誕生している。

（平成27年1月11日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋）

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●赤穂市民病院

交通：JR播州赤穂駅下車 バス7分
採用条件：正規職員（採用日H27年4月1日）
臨時職員
業務内容：臨床検査業務
連絡先：0791-43-3222（総務課 長坂）

●県立がんセンター

交通：JR・山陽／明石駅下車 バス6分
採用条件：臨時的任用職員 1名
非正規職員 1名
業務内容：病理検査（臨時的任用職員）
血液検査（非正規職員）
連絡先：078-929-1151（検査 桑島）

●（公財）兵庫県健康財団

交通：①神戸市営地下鉄学園都市駅 徒歩15分
②JR八鹿駅すぐ
採用条件：嘱託職員（年度更新あり）
業務内容：出張健康診断における検査業務
（尿検査、心電図検査、眼底検査、
超音波検査など）
連絡先：078-579-1300（総務企画課 林）

●（医・社）紀洋会 岡本病院

交通：JR篠山口駅下車 バス5分
採用条件：非常勤（1年契約後 無期契約）
業務内容：検査全般
連絡先：079-594-1616（人事担当）

●神戸徳洲会病院

交通：JR垂水駅下車 バス5分
採用条件：正社員・アルバイト
業務内容：検査業務全般
連絡先：078-705-3459（検査課 毛利）

●（社医）愛仁会 杏和総合医学研究所

交通：阪神甲子園駅下車 バス17分
採用条件：正社員
業務内容：検体検査
連絡先：0798-43-2031（管理課 各務）

●三好病院

交通：JR甲子園口駅下車 徒歩5分
採用条件：パート
業務内容：心電図・検血・検尿
連絡先：0798-67-0605（鈴木）